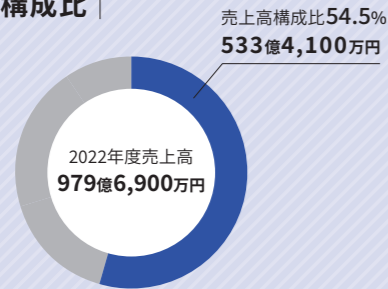


# セグメントの概況 鉄道車両事業

Railway Rolling Stock

## 売上高構成比

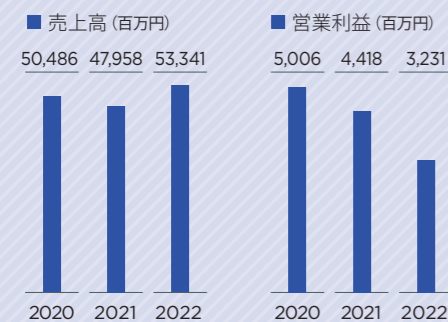


## 業績ハイライト

JR向け車両は、JR東海向けN700S新幹線やHC85系特急型車両、315系電車などの売上があり、売上高は48,541百万円となりました。

公営・民営鉄道向け車両では、名古屋鉄道向け電車、名古屋市交通局向け電車、新京成電鉄向け電車などの売上があり、売上高は4,800百万円となりました。以上の結果、鉄道車両事業としては、2021年度に比してJR向け車両が増加したことなどにより、売上高は53,341百万円となり、2021年度に比べ11.2%増加となりました。

## 過去3か年の売上高・営業利益



## 事業内容 [主要製品]

当社は、1896年の創立以来、一貫して鉄道車両の製造に携わり、国内外の鉄道事業者に多くの車両を提供し、先端の技術を取り入れた高品質の車両をお客様のニーズに応えつつ製造することで、信頼を得てまいりました。

2019年、当社は新幹線製作累計4000両を達成いたしました。これは、国内メーカーとしては初のことであり、日本が生み出した世界最高レベルの新幹線システムへの信頼性ととも、日本車両の品質が高く評価されたものと考えております。

新幹線に限らず、JR在来線・公民営向け特急車両、通勤車両などあらゆる車両を設計、製造してきた実績があり、車体についてもステンレス製、アルミ製、鋼鉄製のいずれも実績があります。このように、各鉄道事業者のニーズにきめ細やかに対応した車両を供給できることが特徴です。

今後も、安全性、快適性、環境性能などを磨きあげた車両を提供することで、社会基盤の充実と発展に幅広く貢献してまいります。

JR東海 / JR西日本 N700S新幹線



JR東海HC85系「ひだ」「南紀」



京成電鉄3100形



鉄道車両事業  
Railway Rolling Stock

Transportation Equipment and  
Steel Structure

Construction Equipment

Engineering



鉄道車両事業は、新幹線をはじめ、特急型車両、通勤型車両、事業用車両等、幅広い車種に対応できる強みを生かしつつ、N-QUALISブランドとして構造のみならず状態監視技術をブラッシュアップすることで保守軽減と信頼性向上を両立するとともに、生産プロセスの改善によるコスト低減に努め、競争力を強化してまいります。

執行役員 鉄道車両本部長 内藤 恒陽

## 超電導リニア改良型試験車を製作

当社はこれまで、JR東海が開業を目指すリニア中央新幹線計画において、山梨リニア実験線において投入された初期の試験車両から最新型の超電導リニア車両L0系までを納入した実績があります。また、2020年には、L0系で実施してきた各種試験のデータをもとに、更にブラッシュアップさせたL0系改良型試験車の中間車を製造・納入し、現在、山梨リニア実験線において試験が続けられています。近い将来のリニア中央新幹線の開業に向け、さらなる技術の研鑽に努めていきます。

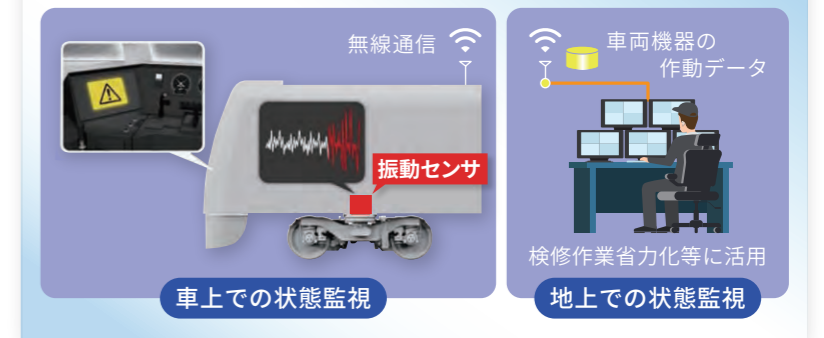


提供：JR東海

## 当社ブランド「N-QUALIS」に状態監視のラインナップ追加

当社は、安全・品質・保守に磨きかけ進化させた次世代を築く技術ブランド「N-QUALIS」の要素の一つとして状態監視技術を展開しておりますが、これまでの車上での状態監視技術に加えて、地上での状態監視技術をラインナップに追加しました。車上での状態監視技術は、車体の振動や空気ばねの圧力を常時監視し、台車部品の異常と車両の脱線・衝突・転覆を検知することが特長です。車上での状態監視技術で培ったデータ分析技術を応用して、様々な車両機器の動作データを地上で分析することで、車両の定期検査の一部を省略可能とし、鉄道事業者の検修作業省力化に貢献します。

### [状態監視技術の概要]



([https://www.n-sharyo.co.jp/business/tetsudo/n\\_qualis/](https://www.n-sharyo.co.jp/business/tetsudo/n_qualis/))



## column JR東海315系

JR東海の「315系」は、JR東海約22年ぶりの新型通勤車両です。外観デザインは「先進性×親近感」をコンセプトとし、幾何学的な前面形状と、長く親しまれているカラーを調和させた配色にしています。内装デザインは「優しく安心感のある快適な移動空間」として、各種バリアフリー設備の充実と、車内防犯カメラ等の設置によるセキュリティの強化を実現しました。315系には当社の技術ブランド「N-QUALIS」の要素である平滑かつ強度向上を図った構体、日車オリジナルの「NS台車」、台車等の異常を早期に検知する状態監視技術が採用されています。



## column 海外展開

当社はこれまで、海外の鉄道事業者向けに多くの車両を納入してきました。最近では、インドネシア初の地下鉄である「ジャカルタ都市高速鉄道 (MRT) 南北線」に96両の車両を納入し、現地の新たな交通手段として定着しています。また、台湾では日本の企業集団の一員として、新幹線車両としては初の海外輸出となる「台湾高速鉄道」向け車両の設計・製作に携わりました。北米では、これまでにギャラリー型と呼ばれる通勤型車両など、約1,000両以上を納入しました。

